



2月も後半に入ります。年長児達も卒園の日までのカウントダウンが始まりました。4年間、3年間のこれまでの幼稚園生活を振り返りながら、友達と教師達と、残りわずかとなった時間を大切に、そして有意義に過ごしています。

△▼△楽しい時間をありがとうございます△▼△

年少・中・長児達が「親子レクリエーション」で楽しい時間を過ごしました。

運動会や発表会、参観日とは違う形で、お子様の幼稚園での様子、成長の様子をご覧頂けたことと思います。

子供達もママやパパとの楽しい時間に、とっても嬉しそうなお可愛い笑顔を見せてくれていましたね（笑）

お忙しい中ご参加下さりありがとうございました。



□■□小学校に夢を…□■□

年長児達の幼稚園生活を小学校生活に見立た「小学校週間」を予定しています。

朝・帰りの会を`学活、に、読み書き数字も`国語、と`算数、製作活動は`図工、… というように、普段の園生活をすべて小学校の`授業形式、に行います。

最終日には算数と国語の`テスト、も予定しています（笑）
「小学校生活に夢を！」 4月から始まる小学生としての生活に夢と希望を持ってもらえると嬉しいです。



♪♪♪お気持ちに感謝申し上げます♪♪♪

毎年、進級・卒園を控えたこの時期になると、担任や学年の教師達に、お世話になったお礼として何か「記念の品」を… という声が入ってきます。子供達と保護者の方のメッセージを添えたアルバムや花束、記念品等々… 教師達もこのような物を贈って頂けることは言葉では言い表せない程嬉しい気持ちでいっぱいになります。しかしながら、このような記念の品を準備されることは、とりまとめられる保護者の方のご負担をはじめ、金銭的なご負担も含め、多くの保護者の方にご迷惑をお掛けすることになってしまいます。担任や学年の教師達へのお気持ちはしっかりと受取らせて頂き、記念の品等頂くことは固く辞退させていただきます。ご理解下さいますようお願い申し上げます。

子供を産まない長寿国

児童精神科医の佐々木正美先生が自身の著書でこんなことを書いています。「日本は、世界で一番長生きをする国で、同時に世界でも有数の`子供を産まない国、である」と！

ちなみに、2023年1月～11月までの出生数は69.6万人で、前年比5.3%減、2023年は前年に比べて4万人少ない72.6万人になる見通しだそうです。さらに、先日の日本経済新聞には、「結婚氷河期」見えぬ未来、婚姻数90年ぶり50万割れ」という記事もありました。日本の人口を維持するためには、2.07人程度の合計特殊出生率が必要と言われていますが、日本総研は、1.20人程度になる見通しだと言っています。

佐々木先生は、子供を育てる意欲とか、エネルギーとか、愛する心がなければ子供を産むことができないので、現代の日本人ひとりひとりが、子供を育てる力を失っているのではないかと言っています。

一方で、日本は世界第一位のペット王国でもあります。それも高価な犬や猫がよく売れる国で、血統書付きの犬や猫がこれほど売れる国は世界中どこにも無いと言われてます。さらに、日本は保健所を通じて年間30万匹以上の犬や猫が殺処分（多くが雑種）されているのです。これは「こういう犬なら愛せます。」「ああいう猫ならいいですね。」というような自己中心的な生き方が大きく影響しているのかもしれない。

確かに少子化の一因に、現在の日本の経済状況が大きく影響していることは間違いありません。かつての経済大国日本も、GDPもドイツに抜かれ世界第4位に転落してしまいました。物価高に、賃金も上がらず、「将来に夢や希望が持てない！」という若い世代の気持ちもよくわかりますが… でも、園長自身も26歳で結婚をして、28歳で父親に… サラリーマン時代の初任給だって、今の世代に比べるとかなり低く、貯蓄なんて微々たるもので、決して余裕のある生活ではありませんでした。当時と今を比べると、今の若い世代の生活は、様々な面で恵まれていて羨ましくなります。そんなお辞職にも恵まれているとは言えない当時でも、まさか先生と子育てに奮闘する毎日に`夢や希望が持てない！、と感じることは一度もありませんでした。

子供はペットと同じではありませんが、育児に対しても「こういう子供なら愛せます」「ああいう子供ならいいですね！」「子供がこうしているときは嬉しいけど、ああしてくれなければ嫌です！」というような自己中心的な感情が大きくなってきているのかもしれない。

子育てには膨大なエネルギーが必要です。子育て真最中の皆さんはよくお分かりだと思います。自分の生活を子供に合わせて変えなければなりません。自分のやりたいことを優先する人、やりたいことはやる、欲しい物は欲しいというような気持で子供を育てることはできませんよ。

子育てには`夢と希望があります！、皆さんは日々、`夢と希望、を実感されているはずですよ。次の子育て世代の若者に、そして、我が子に… `どんな未来を残すか？！、子育て真最中の`現役、として保護者の皆さんの大切な役目です。一緒にがんばりましょう！！